

令和7年度使用西多摩地区町村立学校教科用図書＜中学校＞ 選定教科書とその理由

西多摩地区町村立学校教科用図書採択協議会

	数 学（東京書籍）	理 科（新興出版社啓林館）																																																												
内 容	①小学校以降の内容とのつながりが「目次」に記されている。また、各ページにおいて、既習事項を新しい学習につなげる内容が記載されている。 ②各単元の前のページに、必要な既習事項を確認するページがある。 ③加法の計算で数直線を東西への移動に見立てるなど、新しい内容は現実場面から導入している。 ④加法の計算の際、同符号、異符号の2つに分けて例題と問を示すなど、新しい内容の導入はいくつかのパターンに分けてまとめている。 ⑤第1学年は多面体の展開図を切り取って使えるページがある。 ⑥第2学年は連立方程式の加減法で文字を消去する方法の導入が減法である。また、一次関数の導入で傾きが正の数である。 ⑦第3学年平方根の導入では、面積から正方形を書く問題を扱っている。因数分解では平面図形から導入している。標本調査の乱数表は1ページ分記載されている。	①単元末に、単元導入と同じ問いがあり、学習後に再考することで、自分自身の成長を実感し、メタ認知の力を育めるような工夫がされている。 ②単元に1箇所、仮説を立てるところから始まる実験を入れ、最後に「みんなで探Qクラブ」を設け、習得した知識・技能を活用して、学習で浮かんだ疑問から深い学びへとつなげる工夫がされている。 ③「ひろがる世界」では、日常生活や社会に関連したコラムが掲載されており、理科の有用性が伝わるように工夫がされている。 ④単元末の「学習のまとめ」に基本的な学習内容がまとめられている。さらに二次元コードを読み取ると、用語確認のための選択問題が利用できるようになっている。 ⑤各学年二次元コードがあり、学習内容に沿ったコンテンツを無料で視聴・利用することができる。																																																												
構成・分量	①系統性 ・各単元、最終節に学習事項の発展として「利用」が設定されている。 ・発展的な内容に印が付けられている。 ・目次に「前の学習」が書かれており、既習事項とのつながりが分かるようになっている。 ②学習内容 第1学年には0章「算数から数学へ」が8ページで設定されている。 <table><tr><th colspan="2">第1学年</th><th colspan="2">第2学年</th><th colspan="2">第3学年</th></tr><tr><th>単元</th><th>ページ数</th><th>単元</th><th>ページ数</th><th>単元</th><th>ページ数</th></tr><tr><td>1章</td><td>44</td><td>1章</td><td>24</td><td>1章</td><td>30</td></tr><tr><td>2章</td><td>28</td><td>2章</td><td>22</td><td>2章</td><td>28</td></tr><tr><td>3章</td><td>26</td><td>3章</td><td>38</td><td>3章</td><td>24</td></tr><tr><td>4章</td><td>40</td><td>4章</td><td>30</td><td>4章</td><td>34</td></tr><tr><td>5章</td><td>34</td><td>5章</td><td>36</td><td>5章</td><td>40</td></tr><tr><td>6章</td><td>34</td><td>6章</td><td>18</td><td>6章</td><td>20</td></tr><tr><td>7章</td><td>25</td><td>7章</td><td>15</td><td>7章</td><td>24</td></tr><tr><td></td><td></td><td></td><td></td><td>8章</td><td>15</td></tr></table> ③配慮 ・教科書の冒頭に、「この本の構成と使い方」「デジタルコンテンツの使い方」「章の学習を終えた後で」のページが設定されている。 ・巻末に「学びのベース」が10ページ程度あり、既習事項が簡潔にまとめられており、練習問題が付いている。	第1学年		第2学年		第3学年		単元	ページ数	単元	ページ数	単元	ページ数	1章	44	1章	24	1章	30	2章	28	2章	22	2章	28	3章	26	3章	38	3章	24	4章	40	4章	30	4章	34	5章	34	5章	36	5章	40	6章	34	6章	18	6章	20	7章	25	7章	15	7章	24					8章	15	①構成上、地域の気候特性や各学校の履修形態に合わせて、同一学年内での単元指導順序の入れ替えが自由に行えるようになっている。 ②学習指導要領の内容・取扱いに基づき、配当時数は余裕をもって指導できるようになっている。 ③上位学年や高校での学習内容、学習指導要領に示されていない内容が、適所で「発展」として取り上げられている。また、学習する学年や校種が「中3へ」「高校化学へ」のように示されており、上位学年や高校理科とのつながりを意識できるようになっている。
第1学年		第2学年		第3学年																																																										
単元	ページ数	単元	ページ数	単元	ページ数																																																									
1章	44	1章	24	1章	30																																																									
2章	28	2章	22	2章	28																																																									
3章	26	3章	38	3章	24																																																									
4章	40	4章	30	4章	34																																																									
5章	34	5章	36	5章	40																																																									
6章	34	6章	18	6章	20																																																									
7章	25	7章	15	7章	24																																																									
				8章	15																																																									
表記・表現	①本文の文字の大きさは、12pである。本文、ルビは「ユニバーサルデザインフォント」を使用している。新出用語にはルビが付いている。 ②本文や「例」は、「だ・である」調を用いている。生徒が取り組む問題は「です・ます」調を用いている。読点（、）とカンマ（、）の使い分けをしている。 ③「まちがい例」は誤りであることが明確にわかるように、「まちがい例」と明記している。 ④写真数 第1学年 87枚 第2学年 42枚 第3学年 48枚 ⑤文字や式のためのページ割合 第1学年 4.6% 第2学年 5.8% 第3学年 6.9% それ以外のページには、写真、挿絵、図、表が入っている。 ⑥「作図や関数のグラフ」は、教科書紙面にかき込めるようにしている。 第1学年 30箇所 第2学年 14箇所 第3学年 21箇所 ⑦本文と「例」「問」など、内容間を1行以上空けたり、縦方向に罫線を入れたりしている。登場するキャラクターの性別を明確にしていない。 ⑧二次元コードは教科書下部に掲載している。二次元コードには「動画」「マイ教科書・マップ」「ワークシート」「シミュレーション」「対話シート」「ちょっと確認」「フラッシュカード」「ヒントと解答」の種類がある。	①本文の幅が一定で、途中に図や写真を挟まないレイアウトとなっている。 ②リアルタッチな図と線画を場面によって使い分けている。 ③第1学年の教科書の文字サイズを第2学年、第3学年のサイズより大きくしている。 ④書き込み欄や切り取り式のワークシートが設けてある。																																																												
使用上の便宜	①QRコンテンツは、3学年合計1752個（第1学年623個、第2学年503個、第3学年626個）となっており、二次元コードや「D」マークの印が付けられている。 ②第1学年には、巻末に切り取り式の学習ツールが付いている。巻末に「数学の自由研究」が付いている。 ③身のまわりの題材を取り上げた写真やイラストを各章の先頭に掲載している。	①巻頭に「ガイダンスページ」や「理科における話し合いと発表」「思考ツールの活用」「ICTの活用」の資料を掲載している。 ②AB判サイズを採用し、紙面をより大きく活用できる「あじろ綴じ」製本となっており、総ページ数の削減により軽量化されている。 ③「部活動」「食育」「キャリア教育」と関連した科学コラムがある。 ④二次元コードの資料により、「実験操作の確認」や「情報入手」「データ処理」「結果の共有・発表」「問題演習」を行うことができる。																																																												